



▲ランドマークタワーの輝き

横浜ランドマークタワーは、市内のあちこちから見ることはできますが、12月初旬には、横浜の海から昇ってくる朝日がタワーの窓に反射して、きれいに輝く現象が見えることがあります。運良く、きらめいているところを撮ることができました。五社神社にて。

【段木 武】



▲小園自治会文化祭

12月6日・7日、小園自治会館で文化祭が開催され、294人が来場しました。絵画、絵手紙、書道など81点が展示され、来場者は、一人一人の力作を楽しみながら鑑賞していました。出品する人、鑑賞する人など多くの人が参加する文化祭を通して、地域の人々の絆がさらに強くなったのではないのでしょうか。

【高橋 元】



署名記事は広報まちかど特派員から



▲手打ちうどん作り

12月19日、蓼川自治会館で開催された蓼川地区社会福祉協議会のミニサロンで、手打ちうどん作りが行われ、20人が参加しました。同協議会の木村さんの指導の下、参加者は手際良く手打ちうどんをこね上げました。最後に全員で、かき揚げと一緒においしく食べました。

【大滝 隆司】



▲日本文化を楽しむ「五色百人一首」

1月18日、寺尾南自治会館で綾瀬の子どもたちを見守る会主催の「五色百人一首の会」が開かれました。20枚の札で対戦する五色百人一首は、覚えやすく対戦時間が短いのが特徴です。子どもたちが一礼・握手し、背筋を伸ばして札読みを聞いている様子は、国語力などの向上とともにしつけにも役立つのではないかと感じました。

【馬場 正勝】



▲あやせ国際フェスティバル

12月14日、中央公民館で「つなげよう！ちがいを超えて 友達の輪」をテーマにあやせ国際フェスティバルが開催されました。綾瀬は39カ国2820人の方々暮らしグローバル・シティです。参加者は、いろいろな国の人との交流や民族衣装体験などを楽しみました。

【秋元 謙治】



▲水鳥の季節

空気が澄んで水もきれいな冬は、水鳥が美しく見える季節でもあります。冬の装いでドレスアップしているようです。12月7日、目久尻川沿いにて。

【段木 武】



▲親子で参加、消費者交流会

12月14日、農協集出荷場（早川）で親子ふれあい農業体験の収穫祭と市畜産協会の消費者交流会が合同で開催され、106人が参加しました。豚肉・牛乳・卵・城址まんじゅうなどが振る舞われ、子どもたちは満腹になるまで食べ、和やかな雰囲気でした。

【高橋 元】



◀幻想的なまち灯りロード

スポーツセンターの西側を流れる比留川沿いの遊歩道に、約60基の陶器でできたランプシェードがあります。動植物や風景などが作品となっていて、林の中から出迎えてくれているようです。幻想的な光が癒やしの空間を演出していました。12月13日、まち灯りロードにて。

【馬場 正勝】



▲蓼川べりの遊歩道がつながりました

12月中旬、蓼川の藪根橋際の護岸工事が、ほぼ終了し、綾南公園とやぶね台公園が遊歩道でつながりました。途中に車道横断が3カ所ありますが、絶好の散歩コースです。遊歩道をのんびり歩ける暖かい季節が待ち遠しいですね。

【河野 実】



▲あひるクラブのクリスマス会

12月15日、中央公民館で子育てサロン「あひるクラブ」のクリスマス会が開催されました。子どもたちは、紙芝居や手遊び、リース作りなどを楽しみました。また、スタッフが扮したサンタクロースからプレゼントをもらって大喜ぶする姿が見られました。最後に、クリスマスにちなんだ歌をみんなで歌い、一足早いクリスマスを楽しんでいました。

【福島 順一】